

播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年6月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

- P1【半導体製造装置】ASMLホールディングADR(ASML)
- P2【半導体製造装置】ラムリサーチ(LRCX)
- P3【半導体】クアルコム(QCOM)
- P4【IT機器】デル・テクノロジーズ(DELL)
- P5【電力設備】イートン(ETN)
- P6【セキュリティ】データドッグ(DDOG)
- P7【検査機器】キーサイト・テクノロジーズ(KEYS)

<継続>

- P8【マグニフィセント7】エヌビディア(NVDA)
- P9【マグニフィセント7】マイクロソフト(MSFT)
- P10【マグニフィセント7】アップル(AAPL)
- P11【マグニフィセント7】アルファベット(GOOG)
- P12【マグニフィセント7】アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P13【マグニフィセント7】メタ・プラットフォームズ(META)
- P14【マグニフィセント7】テスラ(TSLA)
- P15【半導体】マイクロン・テクノロジー(MU)
- P16【半導体】アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)
- P17【半導体】ブロードコム(AVGO)
- P18【半導体】マーベル・テクノロジー(MRVL)
- P19【通信機器】コーニング(GLW)
- P20【データ解析】パランティア・テクノロジーズ(PLTR)

(株価データ、株価指標は現地2026年5月28日現在)

<新規>

- 先端半導体製造の要、EUV露光装置を唯一製造
積層半導体のエッチング装置で世界首位企業
- 通信技術を基盤とした総合半導体企業
- AIサーバーやストレージ製造でAIインフラ構築に貢献
- DC電源装置などを手掛ける総合電力管理企業
- AI監視で成長するクラウド型可観測性ツールの世界最大手
- レーザー技術と光通信モジュールを展開する企業

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 米国を代表するDRAM・NANDメモリ大手
- CPUからFPGA・GPUまで多品種を揃える半導体メーカー
- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
- M&Aで光通信部品も強化したASIC大手
- 特殊ガラス製品メーカー、光ファイバー製造米国最大手
- 防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

オランダの半導体製造装置世界大手、最先端半導体に不可欠なEUV露光装置を市場へ独占的に供給

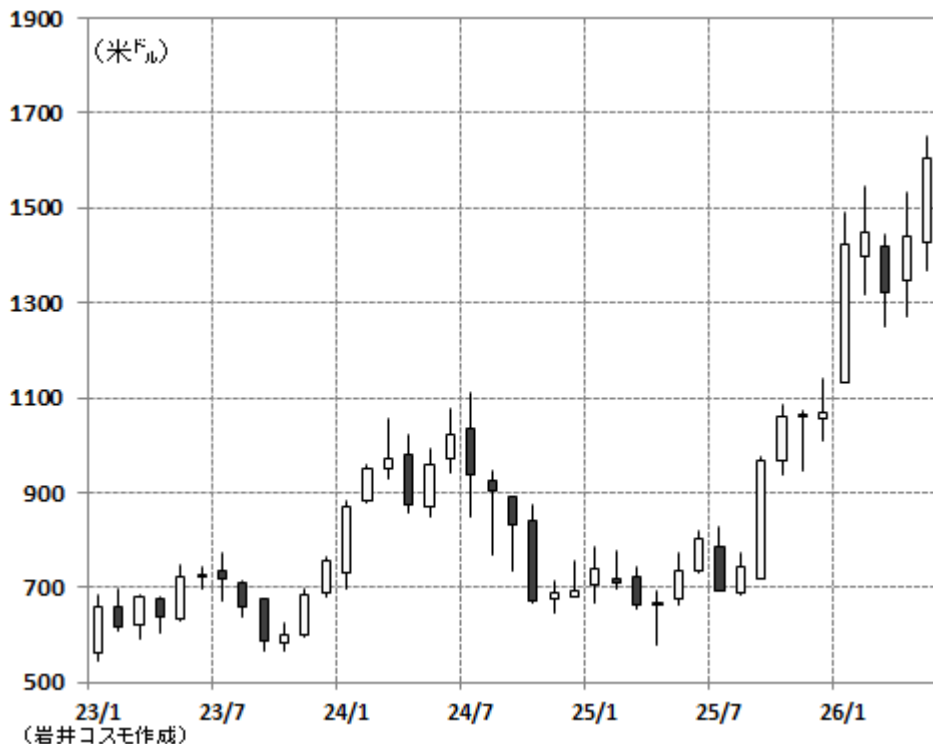
会社概要

1984年にオランダのフィリップスとASMインターナショナルの合併で設立。最先端の半導体製造に不可欠な極端紫外線(EUV)露光装置を世界で唯一供給する独占的企業。主な顧客はTSMC、インテル、サムスン電子など世界の大手半導体メーカ等。旧世代の深紫外線(DUV)露光装置でも高いシェアを誇り、AI半導体を含む世界のチップ製造エコシステムの最上流で優位な地位を確立。欧州テック企業の代表的存在。

注目ポイント

□ **次世代EUVの量産本格化**: AI半導体の微細化(2ナノプロセス以降)に必須となる解像度の高い次世代機「高NA(開口数)EUV」(EXEシリーズ)の納入が進行中。標準機の単価が約2億ドルであるのに対し、次世代機は約4億ドルに達する超高額装置が業績に本格貢献する。

□ **供給制約の打破と長期目標**: AIインフラ投資の加速により、世界的な露光装置の需要超過状態が続き、同社は大規模な設備投資で生産能力の拡充を急ぐ方針。対中輸出規制などの地政学的リスクを抱えるものの、欧米の自国半導体網の構築需要で相殺。2030年に向けた売上高目標である440億~600億ユーロ、粗利益率56%~60%の達成に向け、強固な受注残の消化を推進する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1605.77 (05/28)
52週高値(日付)	1653.25 (26/05/22)
52週安値(日付)	683.59 (25/08/01)
時価総額	6,233億ドル 99兆2,505億円
株価変化率(%)	51.5 (過去6ヶ月間) 115.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	53.2 (倍)
株価売上高比率	15.8 (倍)
PBR	25.7 (倍)
税配当利回り(%)	0.79 (直近年率)
配当成長率(%)	26.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	52.2 (%)
株式ベータ	1.32 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2024/12	28,263	3	9,023	-0	7,572	-3	19.24	6.24
2025/12	32,667	16	11,301	25	9,609	27	24.71	6.56

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2025/Q1	7,742	—	2,738	—	2,355	—	6.00	1.52
2026/Q1	8,767	13	3,158	15	2,757	17	7.15	1.60

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体前工程のエッチング装置の世界大手、超高速DRAM(HBM)関連投資で恩恵

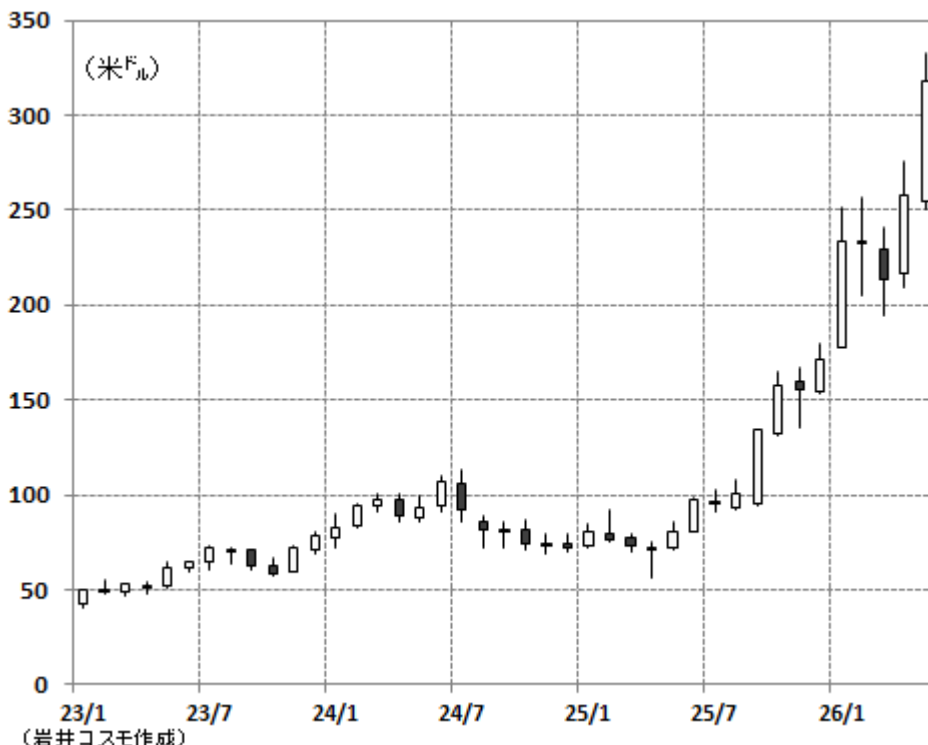
会社概要

1980年創立。半導体製造装置の世界的大手で、ウエハ-上の薄膜を削り取る「エッチング(食刻)装置」で圧倒的シェアを誇る。NAND型フラッシュメモリなど多層化(3D化)が進む半導体製造に不可欠な深掘り技術に強みを持つ。近年はAI向け半導体需要を背景に、最先端ロジックや広帯域メモリ(HBM)、先端パッケージング向け装置が急成長中。保守や部品などサービス部門も厚い収益基盤。本社はカリフォルニア州。

注目ポイント

□ **1-3月期に最高益を更新**: 26年4月発表の1-3月期決算は、売上高が前年同期比約24%増の58.4億ドル、調整後1株当たり利益は1.47ドルと過去最高を記録した。AI駆動の需要拡大により成膜・エッチング装置が業績を牽引。また、保守・サービス部門も初の四半期売上21億ドル超えを達成し好調だった。

□ **AI特需で市場見通しを上方修正**: 全てのデバイス領域で顧客の設備投資意欲が高まっており、26年暦年のウエハ-製造装置(WFE)の業界全体の市場予測を1400億ドルへと引き上げた。広帯域メモリ(HBM)や先端パッケージング等、AIに不可欠な製造工程で同社の装置採用が急拡大している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	318 (05/28)
52週高値(日付)	333.33 (26/05/27)
52週安値(日付)	79.49 (25/05/30)
時価総額	3,977億ドル 63兆3,268億円
株価変化率(%)	103.8 (過去6ヶ月間) 278.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	59.7 (倍)
株価売上高比率	18.5 (倍)
PBR	37.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.33 (直近年率)
配当成長率(%)	13.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	66.8 (%)
株式ベータ	1.70 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	14,905	-14	4,264	-18	3,828	-15	2.90	0.80
2025/06	18,436	24	5,901	38	5,358	40	4.15	0.92

四半期業績

2025/Q3	4,720	—	1,562	—	1,331	—	1.03	0.23
2026/Q3	5,841	24	2,047	31	1,825	37	1.45	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマホ向け通信半導体の最大手、「エッジAI」や車載事業が成長

会社概要

1985年創立。スマートフォン向け通信半導体で世界トップシェアを誇る米半導体大手。通信特許のライセンス事業(QTL)と半導体設計事業(QCT)が両輪。長年スマホ依存が高かったが、近年は主力の「スナップドラゴン」を車載やIoT分野へ展開し、事業の多角化を推進。生成AI分野では、通信不要で端末側で処理を行うエッジAIに注力し、最新AI機能搭載のPC向け半導体も本格展開。ナスダック100構成銘柄。

注目ポイント

□ **足下業績は車載・IoTが牽引**：26年1-3月期売上高は106億ドル。スマホ向けが伸び悩む中、車載向け売上高は前年同期比38%増の約13億ドルと過去最高を更新。IoT部門と合わせた非スマホ部門の売上高は20%増を記録し、事業の多角化が奏功。3月には200億ドルの新たな自社株買いプログラムも発表し株主還元も強化する。

□ **AI半導体に本格参戦へ**：クラウドに依存せず端末側で処理する「エッジAI」の普及が追い風。「AIエージェント」の台頭に合わせ製品群を刷新中。さらにDC向けカスタム半導体への本格参入を表明。米IT大手向けの初期出荷を26年後半に予定、AIインフラ投資の恩恵も享受する構え。6月24日の投資家説明会で新成長戦略を打ち出す公算。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	243.29 (05/28)
52週高値(日付)	258 (26/05/26)
52週安値(日付)	122 (26/04/07)
時価総額	2,564億ドル 40兆8,335億円
株価変化率(%)	44.7 (過去6ヶ月間) 64.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.4 (倍)
株価売上高比率	5.9 (倍)
PBR	9.4 (倍)
税前提当利回り(%)	1.51 (直近年率)
配当成長率(%)	4.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	36.1 (%)
株式ベータ	1.41 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	38,962	9	10,071	29	10,142	40	8.97	3.30
2025/09	44,284	14	12,355	23	5,541	-45	5.01	3.48
四半期業績								
2025/Q2	10,979	—	3,120	—	2,812	—	2.52	0.85
2026/Q2	10,599	-3	2,309	-26	7,370	162	6.88	0.89

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

総合ITインフラ大手、生成AI向けサーバーの需要増が業績牽引

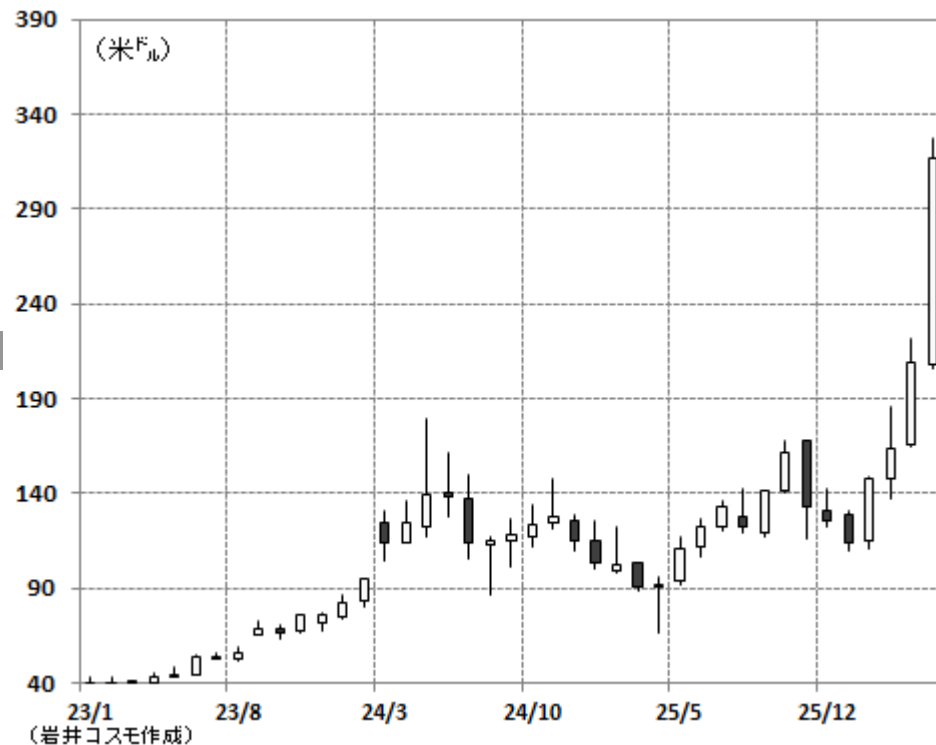
会社概要

1984年創立。PCやサーバ、ストレージの開発・販売を手掛ける米ITインフラ大手。祖業であるPCの直販モデルで成長し、現在はデータセンター向けインフラ部門(ISG)とPC部門(CSG)が収益の柱。近年はエヌビディアとの強力な提携を背景に生成AIに最適化された高性能サーバ事業が急成長。従来のPCメーカーから「AIインフラ企業」への本格転換を進めており、企業や政府機関のAI環境構築需要を幅広く取り込んでいる。

注目ポイント

AIサーバー需要が業績を牽引：足下業績はAI向けサーバを含むインフラ部門の大幅増収が続く。法人需要の拡大を背景にAIサーバの受注残高は26年4月末時点で過去最高の513億ドルに達した。27年度のAI関連売上高は前期比2.4倍の600億ドルに急増する見込み。

利益底上げと株主還元強化：AIサーバは高額なGPUを搭載するため、従来のIT製品と比較して粗利益率が低くなりやすい点が懸念材料。今後は液冷システムの導入や保守サービス等、高付加価値領域での利益底上げが焦点となる。キャッシュ創出力の向上により、今年に入り、年間2割の増配や100億ドルの追加自社株買い枠を設定するなど、積極的な株主還元方針が投資家から評価されている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	317.05 (05/28)
52週高値(日付)	327.5 (26/05/28)
52週安値(日付)	106.43 (25/06/02)
時価総額	2,059億ドル 32兆7,948億円
株価変化率(%)	137.8 (過去6ヶ月間) 178.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	29.3 (倍)
株価売上高比率	1.6 (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	0.79 (直近年率)
配当成長率(%)	18.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.68 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	95,567	8	6,237	15	4,592	36	6.38	1.780
2026/01	113,538	19	8,149	31	5,936	29	8.68	2.100

四半期業績

2026/Q1	23,378	—	1,165	—	965	—	1.37	0.525
2027/Q1	43,842	88	3,656	214	3,438	256	5.24	0.630

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

電力管理システムの世界的企業、AIデータセンター需要の取り込みを強化

会社概要

1911年創立。アイルランドに本社を置く電力管理技術の世界的リーダー。祖業は自動車部品だが、現在は高圧配電盤や無停電電源装置(UPS)等、電気事業が主力。北米市場を中心にDCや製造業向けの電力インフラ整備で圧倒的シェアを持つ。近年はAI普及に伴う旺盛な電力需要を背景に、AIサーバ向けの冷却・電源管理分野を強化。従来の資本財メーカーから「AI電力インフラ銘柄」へ変貌を遂げている。

注目ポイント

□ **AI需要で電力インフラが急成長**: 1-3月期の売上高は前年同期比17%増の74.5億ドル、調整後1株当たり利益は2.81ドル。AI DC建設特需を追い風に主力の北米電気部門が20%増収と全体を牽引。受注残高も1年前比4割増と積み上がり、有機的今期売上成長率がイダンスを9~11%へ上方修正。旺盛な電力需要を確実に取り込む。

□ **巨額買収で冷却分野を強化**: 熱管理技術に強みを持つボイド・サマルを約96億ドルで3月に取得。発熱量が高いエスビディアなどのAI半導体に必須となる「液冷システム」の技術を取り込んだ。送配電網からサーバ内部の冷却までを網羅する体制を構築し、競合パートナー等を猛追。AIインフラのボトルネックである熱と電力の制約解消を目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	401.94 (05/28)
52週高値(日付)	435 (26/05/01)
52週安値(日付)	311.95 (25/12/17)
時価総額	1,561億ドル 24兆8,531億円
株価変化率(%)	16.2 (過去6ヶ月間) 23.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	35.8 (倍)
株価売上高比率	5.5 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前提当利回り(%)	1.09 (直近年率)
配当成長率(%)	8.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.9 (%)
株式ベータ	1.17 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	24,878	7	4,566	19	3,794	18	9.50	3.76
2025/12	27,448	10	4,932	8	4,087	8	10.45	4.16
四半期業績								
2025/Q1	6,377	—	1,177	—	964	—	2.45	1.04
2026/Q1	7,451	17	1,107	-6	866	-10	2.22	1.10

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウド監視プラットフォーム最大手、AI監視の新市場を開拓

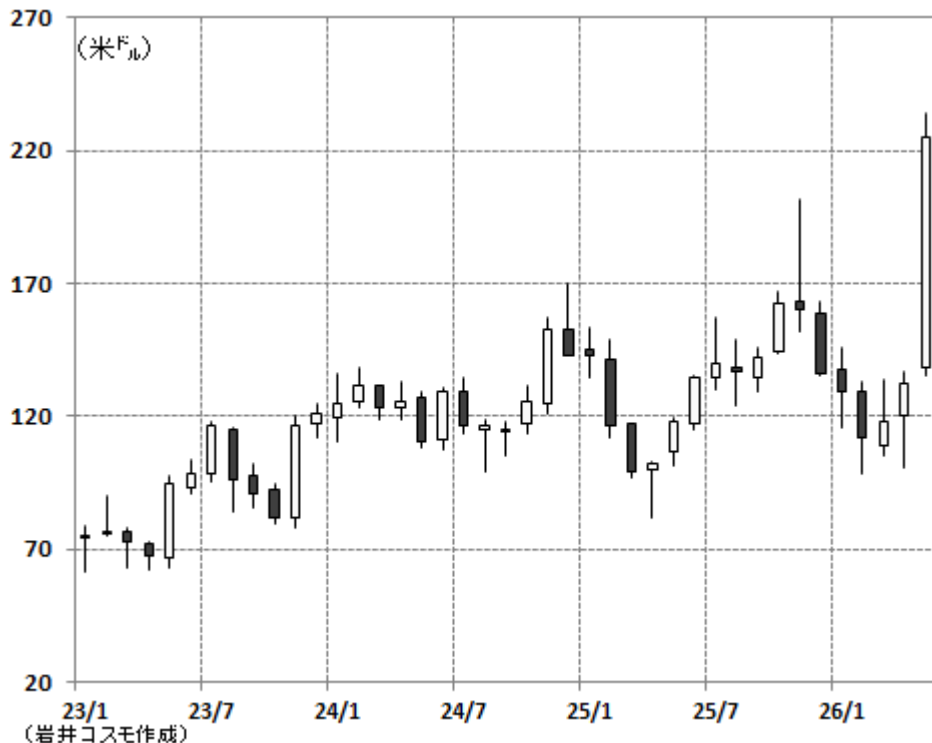
会社概要

2010年創立。クラウド環境のシステム監視(オブザーバビリティ)プラットフォームを提供するSaaS企業。サーバやアプリ、ネットワーク等の稼働状況やログデータを一元的に収集・可視化し、障害の早期発見と解決を支援する。近年はAIを活用した監視機能(LLMオブザーバビリティ)や、クラウドセキュリティ領域への拡張を進めており、設計段階からセキュリティを組み込む開発手法を提唱し存在感を高めている。本社はニューヨーク。

注目ポイント

□ **AIの健全性を見張る新市場開拓**: システム監視の強みを活かし、企業が利用する生成AIのパフォーマンスやコスト、ハルシネーション(もつとらしい嘘)の兆候を監視する機能に注力。アンソロピックやオープンAIのモデル等のAPI利用料金の暴走を防ぐなど、AIを守り・管理する独自の地位を確立している。

□ **安定した成長力と高い収益性**: システムの複雑化や生成AI普及を背景に、監視ツールの需要は底堅い。既存顧客の利用拡大(アップセル)が牽引し、23年7-9月期以降、最終黒字を継続し、安定したフリーキャッシュフローを創出。単なる監視ツールから、システム内部のセキュリティ監視基盤へと領域を広げることで、更なる市場開拓を目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	225.24 (05/28)
52週高値(日付)	234.5 (26/05/28)
52週安値(日付)	98.215 (26/02/24)
時価総額	802億 ^{ドル} 12兆7,684億円
株価変化率(%)	40.8 (過去6ヶ月間) 93.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	568.1 (倍)
株価売上高比率	21.5 (倍)
PBR	20.1 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	3.9 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	2,684	26	54	黒転	184	278	0.52	0.00
2025/12	3,427	28	-44	赤転	108	-41	0.31	0.00

四半期業績

2025/Q1	762	—	-12	—	25	—	0.07	0.00
2026/Q1	1,006	32	7	黒転	53	113	0.15	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

電子計測機器の世界トップ、次世代通信やAIの開発を裏方支援

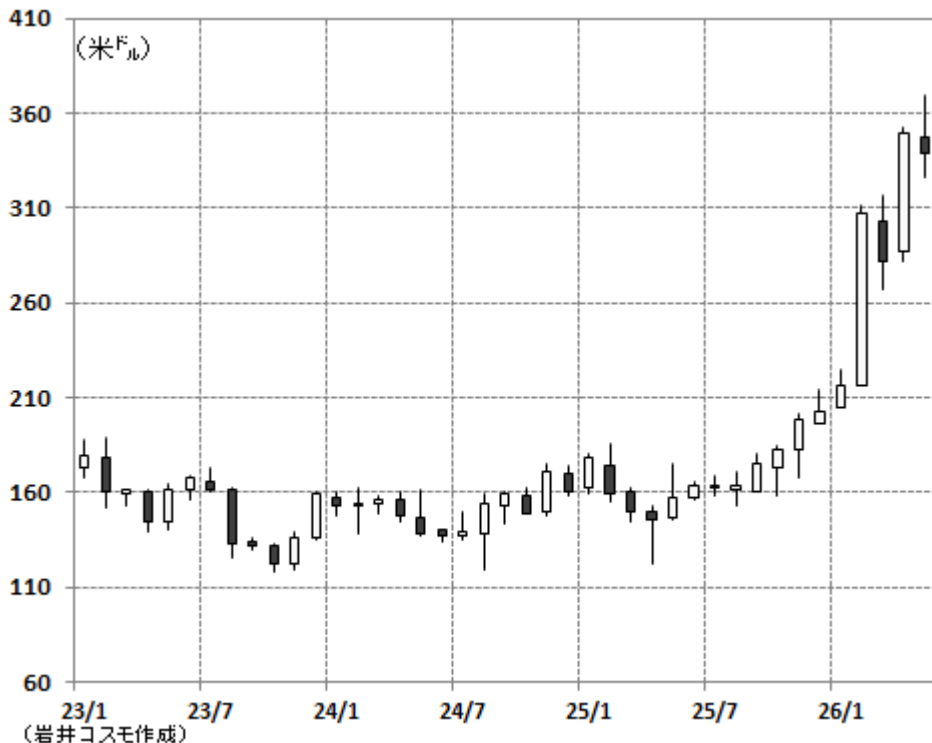
会社概要

電子計測器の世界最大手で源流は、1939年創業のヒューレット・パッカド(HP)。99年のアジレント・テクノロジーとしての独立を経て、2014年に電子計測部門が分離し誕生。現在はAIデータセンターの超高速光通信や5G/6G、自動運転の車載センサー、量子コンピュータ等、先端技術の性能と安全性を検証するテスト・測定ソリューションが主軸となった。本社はカリフォルニア州サンタローサ、26年1月末時点の従業員数は15,400名。

注目ポイント

□ **AIが牽引する超高速通信の検証**: AIの普及で爆発的に増えるデータを処理するため、800Gや1.6Tといった次世代の超高速な光通信部品(光トランシーバ等)の需要が拡大。同社の広帯域オシロスコープやビット誤り率測定器(BERT)を用い、ノイズやデータ欠損がないかを極めて高い精度で検証し、インフラを支える。

□ **AI需要が牽引し過去最高益**: 26年1-3月期業績は大幅増収・増益、過去最高の業績を記録。AIデータセンターの需要拡大などを背景に、受注高は前年同期比5割超増の20.5億ドルの大台を突破。通信部門を中心に旺盛なAIインフラ投資の恩恵を確実に享受し、収益拡大を加速させている。会社側は26年度増収率を20%台後半と見込む。



株価データ	
株価(米ドル)	339.13 (05/28)
52週高値(日付)	370 (26/05/11)
52週安値(日付)	153 (25/08/20)
時価総額	580億ドル 9兆2,345億円
株価変化率(%)	71.3 (過去6ヶ月間) 113.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	48.5 (倍)
株価売上高比率	9.6 (倍)
PBR	9.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.9 (%)
株式ベータ	1.40 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	4,979	-9	833	-39	614	-42	3.51	0.00
2025/10	5,375	8	876	5	850	38	4.91	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	1,306	—	207	—	257	—	1.49	0.00
2026/Q2	1,717	31	407	97	349	36	2.02	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握

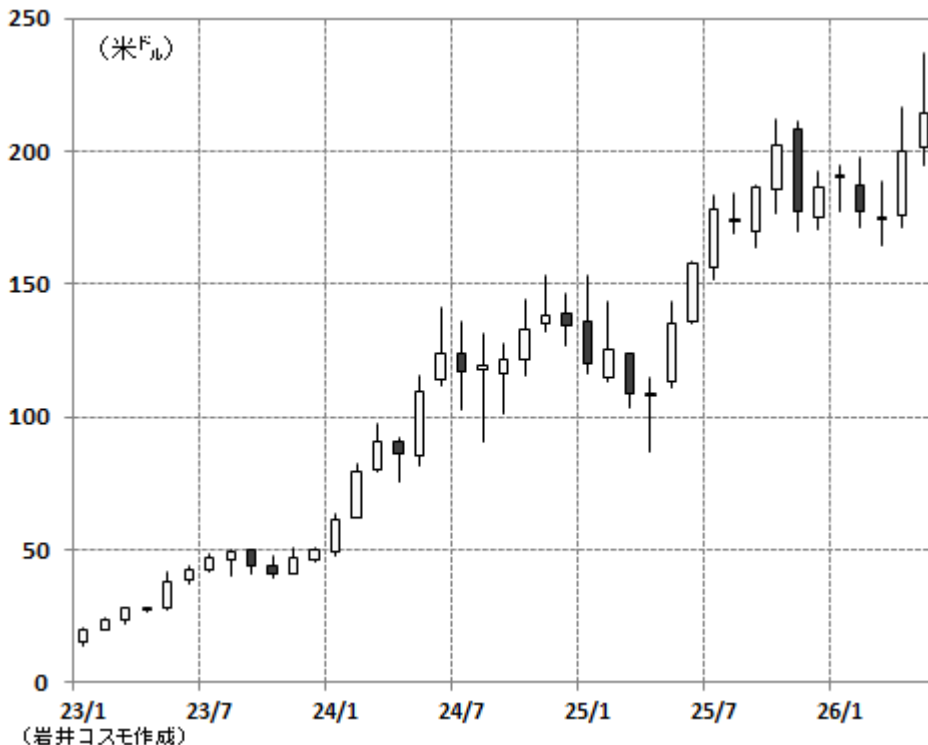
会社概要

1993年設立の米半導体大手。PCゲーム向けの画像処理半導体(GPU)の開発からスタートしたが、現在はデータセンター(DC)向けのAI用半導体で世界市場を高いシェアを有する。ハードウェアだけでなく、AI開発に不可欠なソフトウェア基盤「CUDA」を提供、他社の追随を許さない強力なエコシステムを構築。用途別売上構成は、DC向けが90%、ゲーム向けが7%、プロ視覚化が1.5%、自動車が1.1%、OEM&IPが0.3%(前期)。

注目ポイント

□**次世代品サンプル出荷と新セグメント開始**：「ブラックウェル」の力強い需要が続く中、次世代品「ベラ・ルーベン」のサンプル出荷を既に開始。またAI端末の普及を見据え、従来のゲーム部門等をPCやロボティクスを網羅する「エッジコンピューティング」セグメントへ統合し、独自CPUの単独展開等とあわせ競争力を示した。

□**2-4月期は最高益、27年売上1兆ドルへ**：5月20日発表の2-4月期決算は売上高が前年同期比85%増の816億ドルと過去最高を更新し、データセンター向けが92%増と牽引。自律稼働する「エージェントAI」の進化で計算需要が急増中であり、25~27年の累計売上「最低1兆ドル」という新目標に向け高度成長を裏付けている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	214.25 (05/28)
52週高値(日付)	236.54 (26/05/14)
52週安値(日付)	132.925 (25/05/30)
時価総額	5兆1,849億ドル 825兆6355億円
株価変化率(%)	21.0 (過去6ヶ月間) 58.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.5 (倍)
株価売上高比率	20.6 (倍)
PBR	26.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.47 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	114.3 (%)
株式ベータ	1.73 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040

四半期業績

2026/Q1	44,062	—	21,638	—	18,775	—	0.76	0.010
2027/Q1	81,615	85	53,536	147	58,321	211	2.39	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

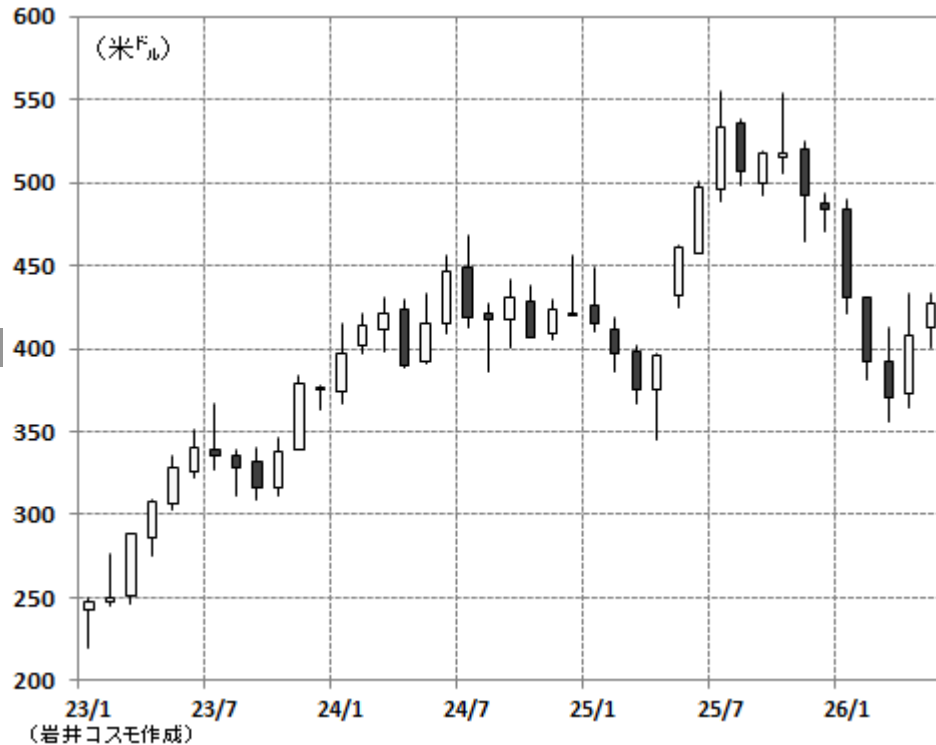
会社概要

1975年創立。PC用OS「ウィンドウズ」や業務ソフト「オフィス」で圧倒的シェアを誇る米IT大手。近年はクラウド基盤「アジュール」が急成長し収益の柱。生成AI分野を強力に牽引しており、対話型AIを手掛けるオープンAIの筆頭株主として協業体制を構築。MSとオープンAIの技術の両方を活用したAI機能「コパイロット」を自社製品群に全面展開し、法人・個人双方で高付加価値化を推進中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□クラウド事業拡大続く: 1-3月期売上高は前年同期比18%増の829億ドル。中でもアジュールを含むインテリジェント・クラウド部門の売上高は30%増の347億ドルと好調。アジュール単体の成長率も40%へ再加速した。AI事業の年間換算売上高が370億ドル(同123%増)を突破し、巨額のAIインフラ投資を背景に旺盛なAI需要の収益化が進展した。

□オープンAIとの契約見直し: 26年4月、オープンAIとの提携を改定し、AIモデルの独占的ライセンス契約を終了した。オープンAIはAWS等他社クラウドでの製品提供が可能に。MSは主要なクラウドパートナーの地位を維持し、32年まで技術を利用できる非独占的権利を確保。自社からの収益分配廃止やAGI到達時の無効条項撤廃など関係を再構築した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	426.99 (05/28)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	356.29 (26/03/30)
時価総額	3兆1,719億ドル 505兆0882億円
株価変化率(%)	-13.2 (過去6ヶ月間) -6.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.0 (倍)
株価売上高比率	10.0 (倍)
PBR	7.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.85 (直近年率)
配当成長率(%)	9.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.0 (%)
株式ベータ	1.04 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q3	70,066	—	32,000	—	25,824	—	3.46	0.83
2026/Q3	82,886	18	38,398	20	31,778	23	4.27	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

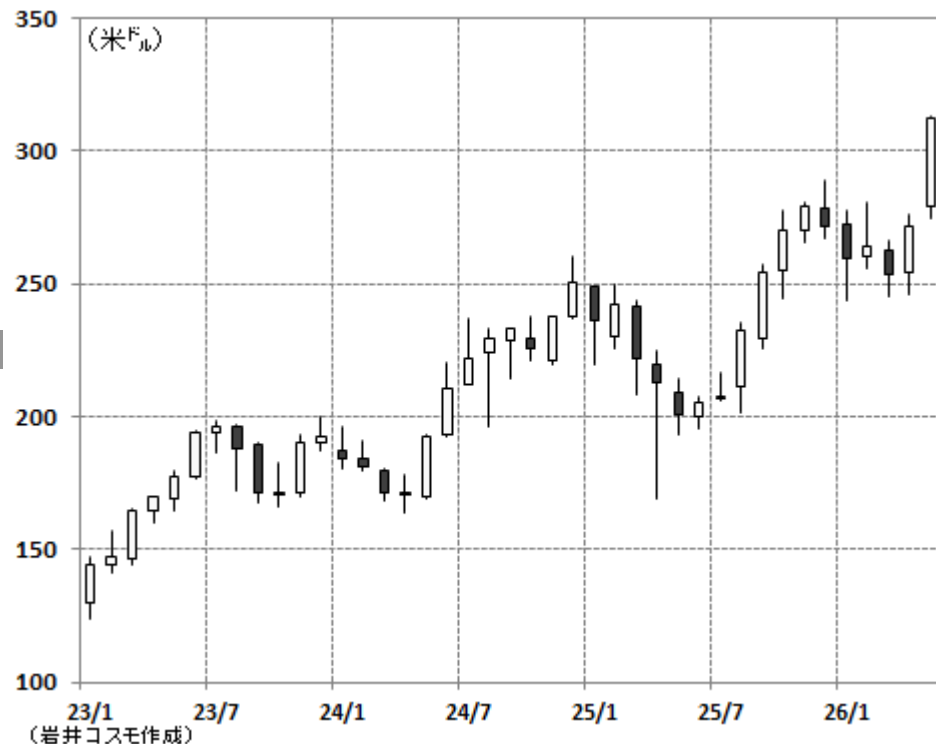
会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **1-3月期も記録的増収**：26年1-3月期売上高は前年同期比17%増の1112億ドル、EPSは同22%増の2.01ドルと市場予想を上回った。AI機能が強化された「iPhone17」シリーズの買い替え需要が牽引し、同部門売上は22%増の570億ドル。懸念された中華圏売上も28%増と大きく伸長した。

□ **次期CEO発表と次世代AIへの布石**：26年4月、クックCEOが9月に執行会長に退き、ハード部門トップのジョン・ターナス氏が次期CEOに就任すると発表された。製品中心の原点回帰が予想される中、6月8～12日のWWDC(世界開発者会議)では次期OSである「iOS 20」が披露される見通し。新体制下での生成AI戦略の全貌に関心が高まる。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	312.51 (05/28)
52週高値(日付)	313.25 (26/05/27)
52週安値(日付)	195.07 (25/06/18)
時価総額	4兆5,899億ドル 730兆9029億円
株価変化率(%)	12.1 (過去6ヶ月間) 55.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.8 (倍)
株価売上高比率	10.2 (倍)
PBR	43.0 (倍)
税前提当利回り(%)	0.35 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	141.5 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	95,359	—	29,589	—	24,780	—	1.65	0.25
2026/Q2	111,184	17	35,885	21	29,578	19	2.01	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

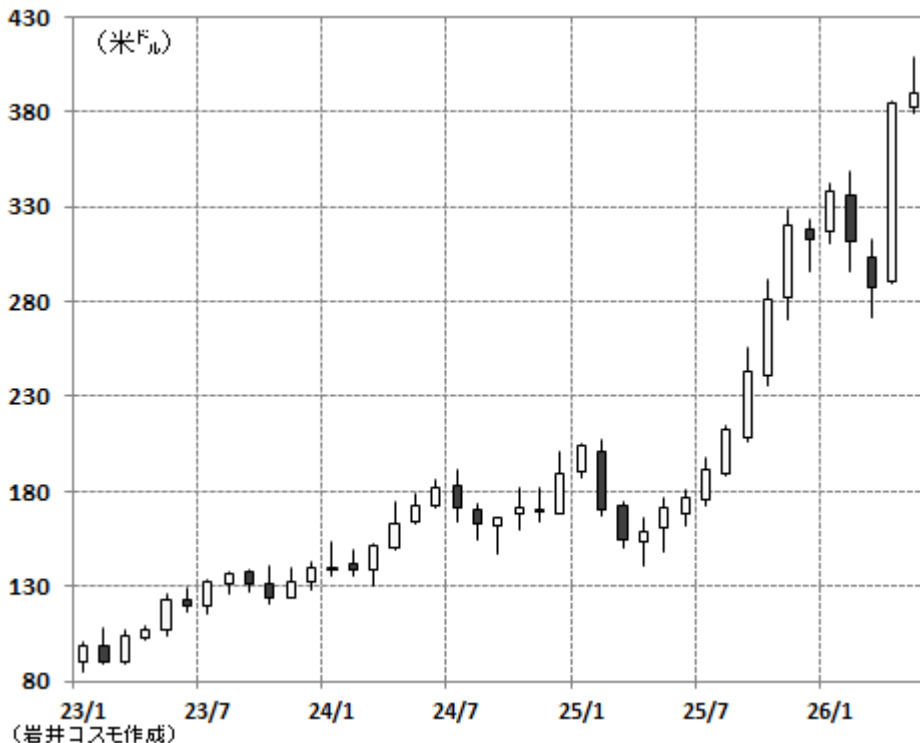
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は194,668人(26年3月末)。

注目ポイント

□ **アンソロピック追加出資とジェミニ効果**: 1-3月期決算は1株利益が5.11ドルと大幅増益。クラウド部門が生成AI「ジェミニ」需要の急増を受け売上高200億ドル(前年同期比63%増)へ大躍進を遂げ全社を牽引。さらに26年4月には最大400億ドルのアンソロピック追加出資が報じられた。自社AIと提携網の相乗効果でクラウド市場の覇権獲得を狙う。

□ **「ウェイモ」の日本進出とインフラ投資**: 自動運転部門ウェイモは、26年中に東京やロンドンなど世界20都市以上への商用展開拡大を発表済。他方、膨大なAI開発の電力確保に向け、26年3月に再エネ・インフラ開発大手「インターセクト・パワー」を約47.5億ドルで取得。自社でDCとクリーン電源を直接併設・保有し、AIインフラの安定稼働と低炭素化の両立を図る考え。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	390.13 (05/28)
52週高値(日付)	408.6 (26/05/18)
52週安値(日付)	162.07 (25/06/23)
時価総額	4兆7,033億ドル
	748兆9472億円
株価変化率(%)	21.8 (過去6ヶ月間)
	126.3 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	39.9 (倍)
株価売上高比率	11.2 (倍)
PBR	9.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.23 (直近年率)
配当成長率(%)	5.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.9 (%)
株式ベータ	1.11 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83

四半期業績

2025/Q1	90,234	—	30,606	—	34,540	—	2.81	0.20
2026/Q1	109,896	22	39,696	30	62,578	81	5.11	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

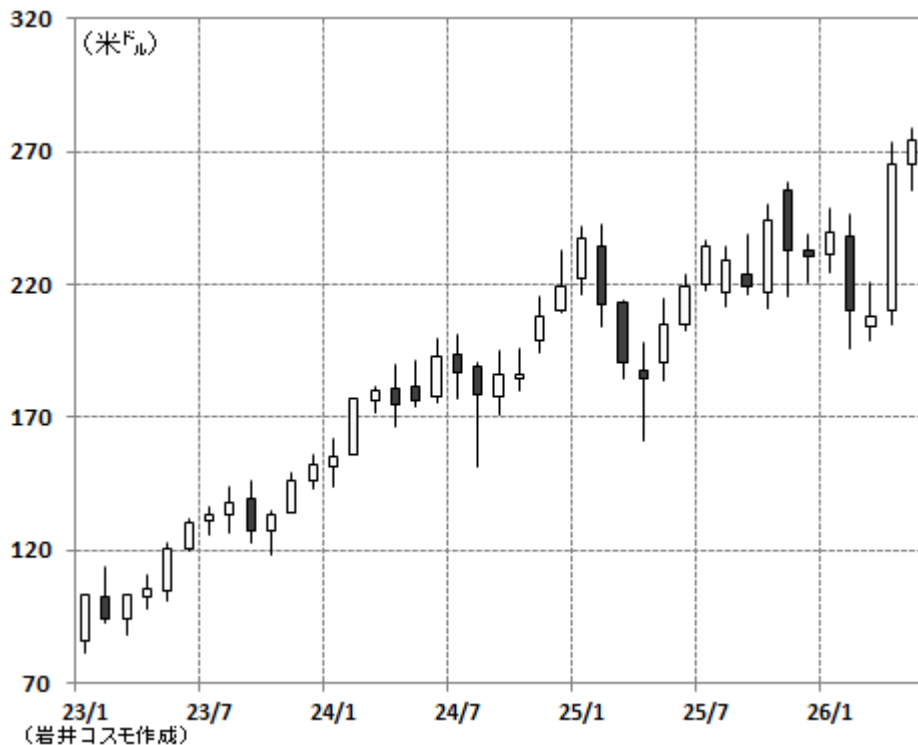
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWSが成長再加速**: 1-3月期決算では主力AWS(クラウド)部門の売上高は前年同期比28%増の376億ドルへと加速、年換算で約1,500億ドル規模に到達。広告事業も同24%増の172億ドルと高成長を維持した。旺盛なAI需要を背景に26年度の設備投資額は2,000億ドル規模に膨らむ見通したが、全社の大幅な増益で吸収する構え。

□ **物流網の外部開放で新収益源を獲得**: 5月に自社の強固な物流ネットワークを外部企業に開放するサービス開始を発表。アマゾン以外のECサイト等で販売される荷物の保管から配送までも一括で請け負う。かつての自社用システムを外部提供して急成長した「AWSの物流版」とも位置付けられ、新たな収益の柱が誕生するのか注目される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	274 (05/28)
52週高値(日付)	278.54 (26/05/05)
52週安値(日付)	196.13 (26/02/17)
時価総額	2兆9,474億ドル 469兆3516億円
株価変化率(%)	17.5 (過去6ヶ月間) 33.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	39.1 (倍)
株価売上高比率	3.9 (倍)
PBR	6.7 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.3 (%)
株式ベータ	1.31 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00

四半期業績

2025/Q1	155,667	—	18,405	—	17,127	—	1.59	0.00
2026/Q1	181,519	17	23,852	30	30,255	77	2.78	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

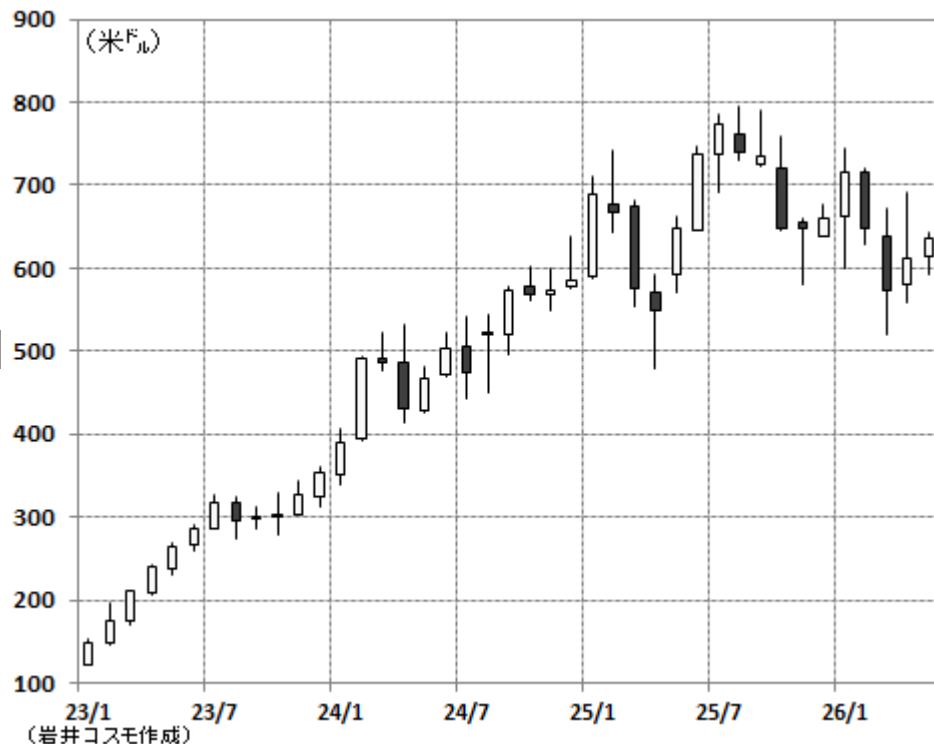
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラム等も含む)は全世界で35.6億人(26年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は77,986人(26年3月末時点)。

注目ポイント

□ **AI投資優先で人員削減実施へ**：1-3月期決算は売上高が前年同期比33%増の563.1億ドルと主力広告事業が業績を牽引した。一方、今期設備投資予想は最大1450億ドル規模に膨らむことに。この影響で5月で全従業員の約10%(約8000人)を人員削減する方針が報じられ、AI特化への事業体制の急旋回が鮮明になった。

□ **SNS依存症裁判の敗訴**：26年3月、SNSが若者の依存症や精神的被害を引き起こしたとする米国の画期的な訴訟で敗訴し、約600万ドルの損害賠償支払いを命じられた。全米で同種の大規模訴訟が約3000件係争中とされ、訴訟波及による規制強化やブランド価値低下を招く潜在リスクとして市場の警戒感が強まっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	635.29 (05/28)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	520.26 (26/03/27)
時価総額	1兆6,126億ドル 256兆7960億円
株価変化率(%)	-2.0 (過去6ヶ月間) -1.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	18.9 (倍)
株価売上高比率	7.5 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.33 (直近年率)
配当成長率(%)	3.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)
株式ベータ	1.30 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.00

四半期業績

2025/Q1	42,314	—	17,555	—	16,644	—	6.43	0.525
2026/Q1	56,311	33	22,872	30	26,773	61	10.44	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

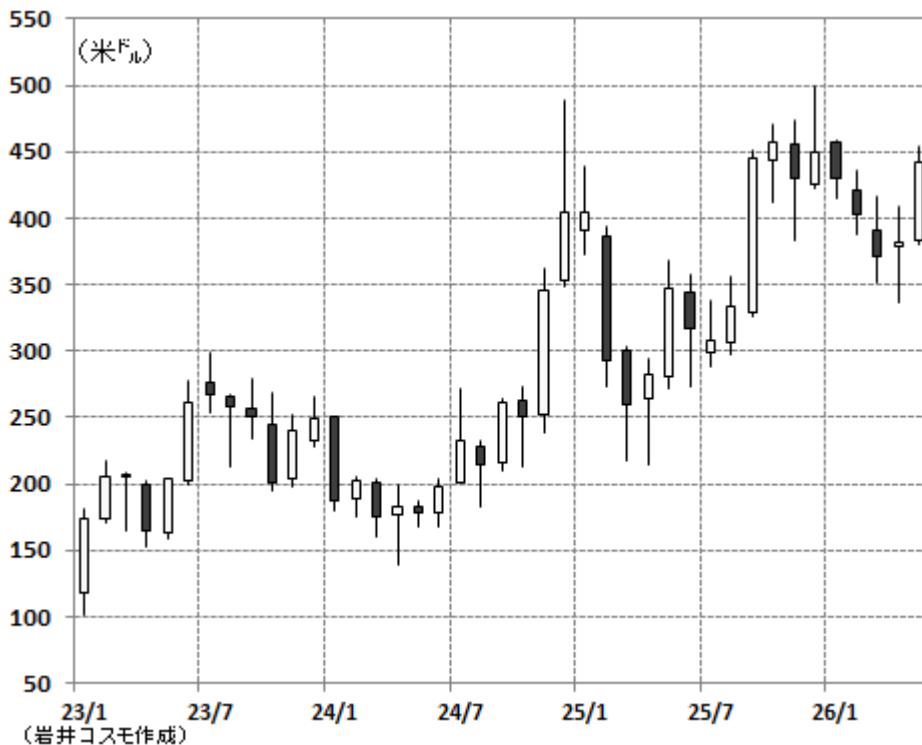
会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能でEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

注目ポイント

□本業EVの回復と自動運転の成長: 1-3月期決算は売上高が前年同期比16%増の223.9億ドル、調整後1株利益は0.41ドルと市場予想を上振れた。納車台数は同6%増の約35.8万台で、需要持ち直しにより第1四半期として過去2年で最高の受注残を記録し本業EVに回復の兆しが見られた。定額課金へ移行した自動運転の有料顧客が約130万人に達し、フリーキャッシュフローは約14.4億ドルの大幅黒字を確保した。

□設備投資増額: 今期投資計画を250億ドル超へ増額修正した。3月にスペースXと共に半導体工場計画を発表、研究用工場を新設する。ロボタクシーは米各地で無人運転を開始し、27年の本格収益化を見込む他、人型ロボットも来年の量産に向け年産100万台体制の整備を進める。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	442.1 (05/28)
52週高値(日付)	498.82 (25/12/22)
52週安値(日付)	273.24 (25/06/05)
時価総額	1兆6,604億ドル 264兆4030億円
株価変化率(%)	2.8 (過去6ヶ月間) 23.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	363.8 (倍)
株価売上高比率	14.6 (倍)
PBR	19.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ベータ	1.55 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00
四半期業績								
2025/Q1	19,335	—	399	—	409	—	0.12	0.00
2026/Q1	22,387	16	941	136	477	17	0.13	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI向けのHBM特需と汎用品価格急騰の二重の追い風

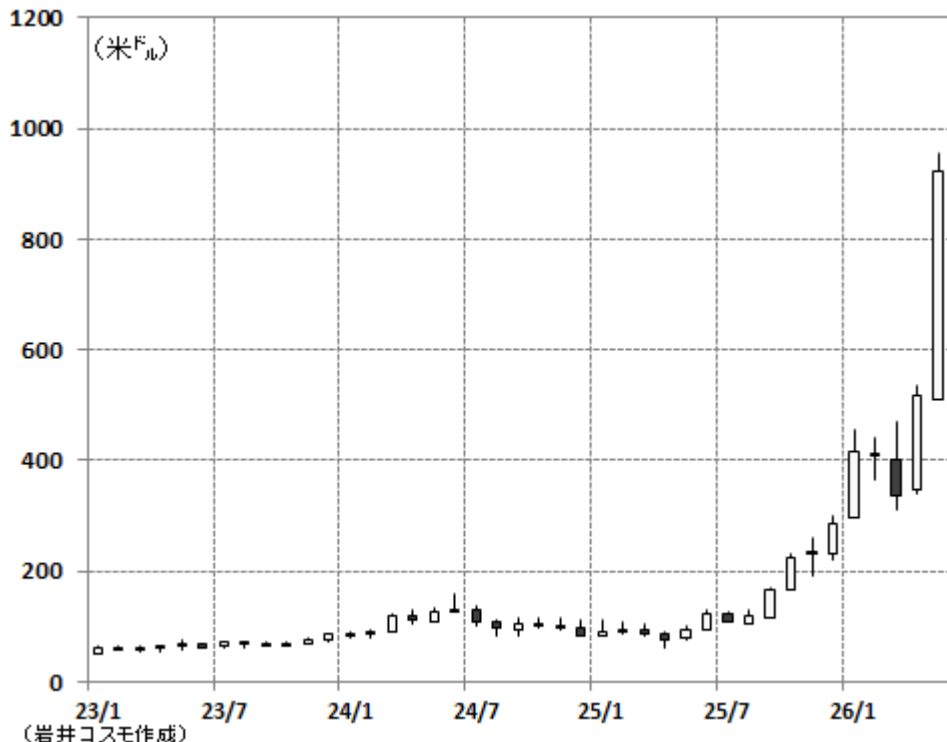
会社概要

1978年設立の米半導体大手。DRAMやNAND型フラッシュメモリなど記憶媒体の設計・製造を手掛ける。サムスン電子、SKハイニックスと共に世界のメモリ市場を寡占。スマホやPC向けに加え、近年はデータセンターや車載向けを強化。特に生成AIサーバに不可欠な広帯域メモリ(HBM)の開発に注力し、エヌビディアの最新GPUにも採用されている。製品別売上構成(25年度)はDRAMが76%、NANDフラッシュ23%。

注目ポイント

□ **AI特需でHBMが27年分まで販売先確保**: 生成AIに必要な広帯域メモリ(HBM)の需要が急増し、同社の27年のHBM生産分まで長期契約で大部分の販売先が決定済み。最新のHBM3Eや次世代HBM4の拡販で強力な価格交渉力を獲得。メモリ業界特有の好不況のサイクルを脱却、AI需要主導の高収益ビジネスへと変貌を遂げつつある。

□ **時価総額1兆ドル突破**: 12-2月期実績は、売上高が約239億ドル、調整後1株利益が12.20ドルと市場予想を大幅に上回る歴史的業績となった(会社発表)。高付加価値なAI向け製品へのシフトも奏功し、粗利益率は約75%へ急上昇。3-5月期見通しも強気で、類を見ない成長期待から5月26日には時価総額1兆ドルの大台を突破した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	923.52 (05/28)
52週高値(日付)	956.16 (26/05/27)
52週安値(日付)	92.225 (25/05/30)
時価総額	10,415億ドル 1,65兆8,461億円
株価変化率(%)	290.5 (過去6ヶ月間) 860.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	43.3 (倍)
株価売上高比率	17.8 (倍)
PBR	14.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.06 (直近年率)
配当成長率(%)	7.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.8 (%)
株式ベータ	2.05 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460
2025/08	37,378	49	9,770	7.5倍	8,539	11倍	7.59	0.460

四半期業績

2025/Q2	8,053	—	1,773	—	1,583	—	1.41	0.115
2026/Q2	23,860	3.0倍	16,135	9.1倍	13,785	8.7倍	12.07	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

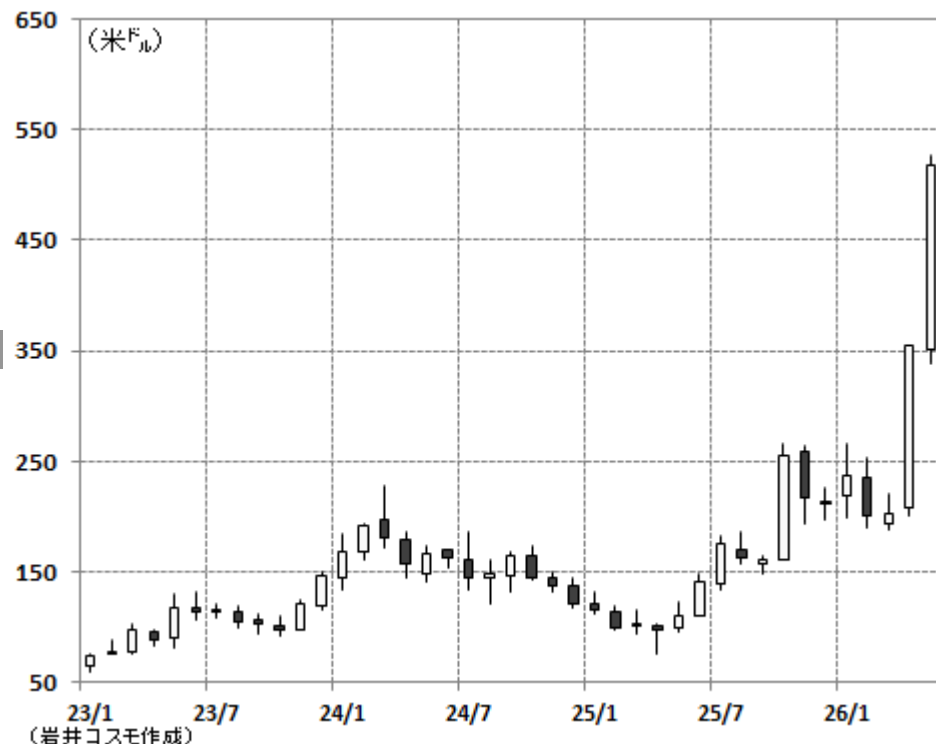
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。自社で工場を持たないファブレス型の米半導体大手。PC向けCPU「Ryzen」やサーバ向けCPU「EPYC」、AI向けGPU「Instinct」を展開。22年にザイリンクスを買収しFPGA分野にも参入。年初のCES 2026では次世代GPUとCPUを統合したAI基盤「Helios」を発表する等、チップ単体からAIシステム全体を提供する企業へと進化。CPUでインテル、GPUでエヌビディアと激しいシェア争いを展開。

注目ポイント

□ **巨大ITと大型契約**: エヌビディア一強への依存や価格支配を嫌う巨大IT企業が、同社AIアクセラレータの採用を拡大。推論分野での高コストを武器に他巨大クラウドベンダーからの受注も進み、AI・GPU市場でのシェア獲得が期待される。

□ **AIエージェント普及でCPU需要拡大**: 1-3月期決算はAIインフラ需要が牽引し、DC事業売上が前年同期比57%増の58億ドルと急拡大。全体は同38%増収、同95%最終増益を達成。AIエージェントの普及を受けてCEOはサーバ向けCPU市場が年率35%超で成長し、2030年までに1200億ドル超へ拡大するとの強気な見通しを提示した。端末側での「AI PC」本格展開も追い風となり、本格的な利益成長加速に期待。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	518.09 (05/28)
52週高値(日付)	527 (26/05/28)
52週安値(日付)	108.62 (25/05/30)
時価総額	8,448億ドル 1,34兆5,256億円
株価変化率(%)	138.2 (過去6ヶ月間) 359.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	179.3 (倍)
株価売上高比率	22.5 (倍)
PBR	13.1 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.2 (%)
株式ベータ	1.63 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00	0.00
2025/12	34,639	34	3,694	94	4,335	164	2.65	0.00
四半期業績								
2025/Q1	7,438	—	806	—	709	—	0.44	0.00
2026/Q1	10,253	38	1,476	83	1,383	95	0.84	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手、カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

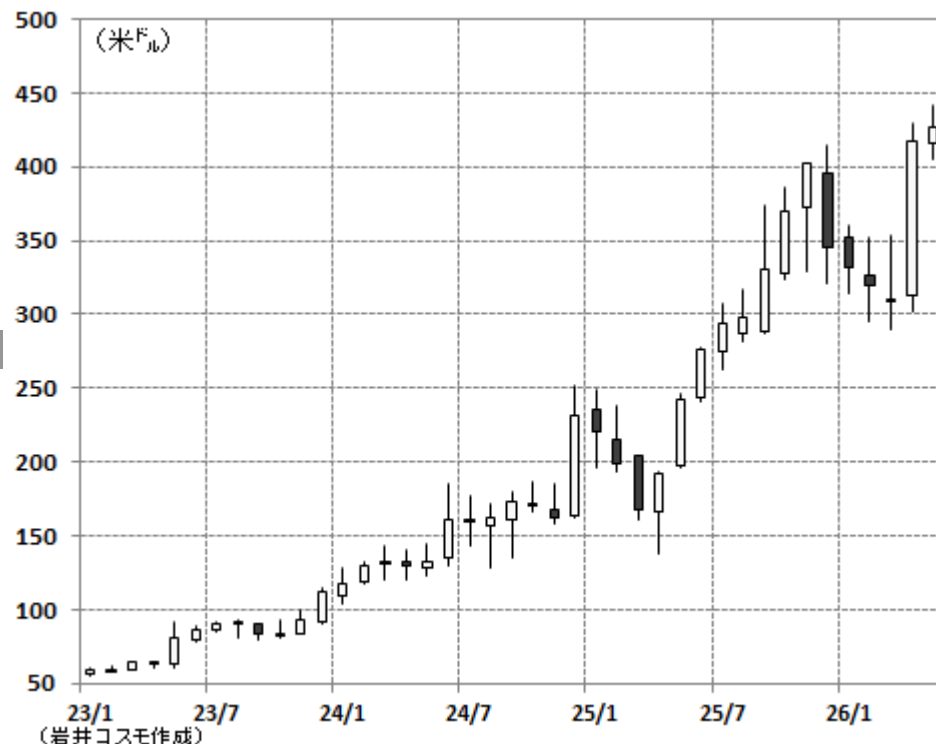
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **AI用のカスタム半導体の最大手**: 巨大なデータセンターを持つ、アルファベットやメタ等のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路、XPUとも呼称)を提供、同分野のトップ企業として知られ、ASICの設計からインフラ構築まで手掛けている。またAIサーバ同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□ **グーグルTPU開発で長期契約**: 前回決算でAI半導体売上高は前年同期比106%増の84億ドルと倍増、第2四半期も107億ドルへ加速する見通し。4月にグーグルのTPU開発で長期契約を2031年までの延長と、急成長のAI新興企業アンソロピック、グーグルとの3社間で数ギガワット規模のTPUインフラを提供する大型契約を発表した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	426.58 (05/28)
52週高値(日付)	442.32 (26/05/14)
52週安値(日付)	234.435 (25/05/28)
時価総額	2兆0,197億ドル 3,21兆6,194億円
株価変化率(%)	5.9 (過去6ヶ月間) 78.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	75.6 (倍)
株価売上高比率	29.5 (倍)
PBR	25.3 (倍)
税配当利回り(%)	0.61 (直近年率)
配当成長率(%)	11.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.4 (%)
株式ベータ	1.94 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
2025/10	63,887	24	25,484	89	23,126	292	4.77	2.360

四半期業績

2025/Q1	14,916	—	6,260	—	5,503	—	1.14	0.590
2026/Q1	19,311	29	8,563	37	7,349	2	1.50	0.650

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信接続用半導体大手、アマゾンのAI用半導体を手掛ける、M&Aで光通信分野を強化

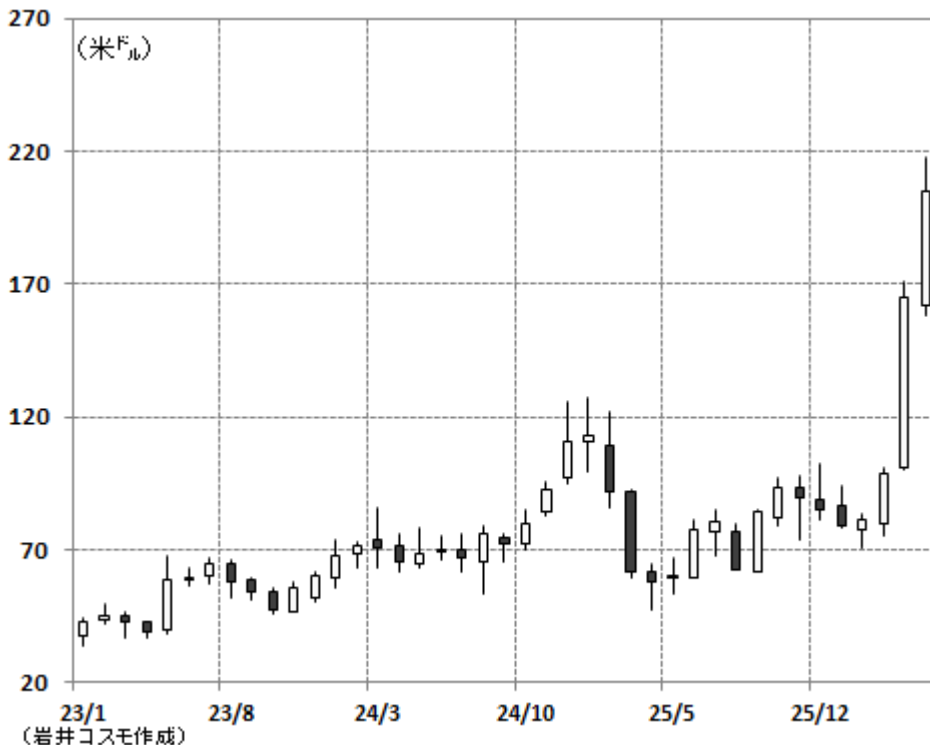
会社概要

1995年創立のファブレス半導体メーカーで、台湾TSMC等に生産委託。データセンター(DC)や通信インフラ向け半導体を手掛ける。祖業はストレージ分野だが、現在はAI向け通信事業などに完全にシフト。光通信を高速化する製品を豊富に揃え、近年は特定用途向けカスタム半導体(ASIC)の開発を強化。24年にアマゾンAWSと協業拡大するなど、クラウド大手への影響力は年々拡大。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□ **AI需要急拡大で過去最高売上**: 2-4月期決算は、売上高が前年同期比28%増の24.2億ドルと過去最高を更新、市場予想を上振れ。牽引役のデータセンター部門は売上の76%を占める18.3億ドルへと急拡大。旺盛なAI関連需要を受け、27年度通期の売上見通しを約115億ドル(約40%増)へ、28年度通期を約165億ドルへ上方修正した。

□ **光電融合でリード目指す**: 2月に次世代技術を持つセレスティアルAIの買収を完了した。DC内の膨大な通信ボトルネックを解消する光電融合の技術を取り込み、AIインフラ市場での競争優位を画策する。会社側は関連のインターコネクト事業が27年度に前年比70%以上の驚異的成長を遂げると予測しており、将来の強力な牽引役と期待される。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	204.83 (05/28)
52週高値(日付)	217.6 (26/05/27)
52週安値(日付)	58.615 (25/05/30)
時価総額	1,838億ドル 29兆2,684億円
株価変化率(%)	129.1 (過去6ヶ月間) 217.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	136.2 (倍)
株価売上高比率	20.3 (倍)
PBR	9.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.12 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.0 (%)
株式ベータ	1.89 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/01	5,767	5	-720	赤継	-885	赤継	-1.02	0.24
2026/01	8,195	42	1,323	黒転	2,670	黒転	3.07	0.24

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2026/Q1	1,895	—	271	—	178	—	0.20	0.06
2027/Q1	2,418	28	339	25	35	-81	0.04	0.06

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

特殊ガラス製品メーカー、AIインフラとして需要が急増する光ファイバーで復権中

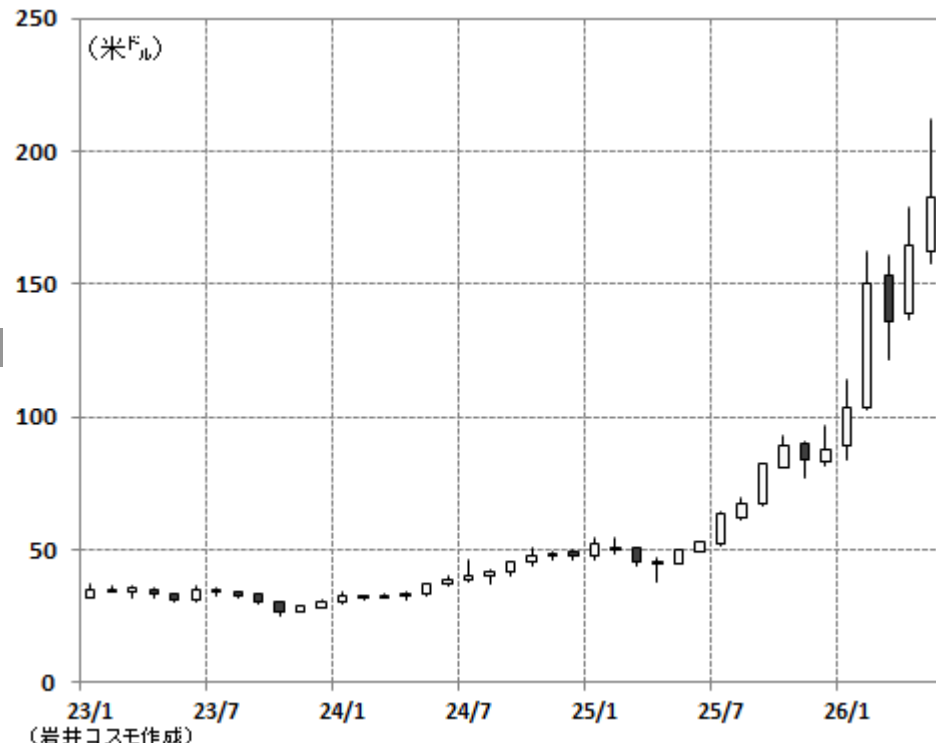
会社概要

1851年創立。特殊ガラスやセラミックスの世界最大手。エジソンの電球用ガラスに始まり、iPhoneの「ゴリラガラス」で知られる高い技術力を誇る。事業は光通信、ディスプレイ、環境、ライフサイエンス分野まで多岐に亘るが、現在はAIデータセンター需要に伴う光ファイバー関連が急成長。24年に開始した中期成長戦略「スプリングボード」の下、生成AIブームを背景に力強い回復を遂げながら、収益性向上を加速させている。

注目ポイント

□ **メタ等との大型契約とAI需要**: 26年1月にメタと最大60億ドル規模の複数年の供給契約を締結。AIデータセンター向けの最新光ファイバー等を供給する。さらに1-3月期には他の大手2社とも同規模の契約を結び、5月にはエヌビディアから3億ドルの投資も獲得。ノースカロライナ州等の拠点を大幅拡張し、米国本土でのサプライチェーンを強化する。

□ **成長目標の上方修正と部門好調**: 25年8月発表のアップルからの25億ドル投資に続き、メガテック企業との深耕が続く。強固な受注を背景に、同社は事業成長計画の目標値を57.5億ドルへ上方修正した。AI需要を追い風に26年1-3月期の光通信部門の売上高は前年同期比36%増の18.5億ドルへ急拡大、業績を牽引した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価 (米ドル)	182.97 (05/28)
52週高値 (日付)	211.75 (26/05/13)
52週安値 (日付)	48.89 (25/05/30)
時価総額	1,572億ドル 25兆0,284億円
株価変化率 (%)	117.3 (過去6ヶ月間) 270.0 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	87.0 (倍)
株価売上高比率	9.6 (倍)
PBR	14.0 (倍)
税前提当利回り (%)	0.61 (直近年率)
配当成長率 (%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	16.1 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,118	4	1,135	28	506	-13	0.58	1.12
2025/12	15,629	19	2,279	101	1,596	215	1.83	1.12

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q1	3,452	—	445	—	157	—	0.18	0.28
2026/Q1	4,144	20	639	44	371	136	0.43	0.28

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

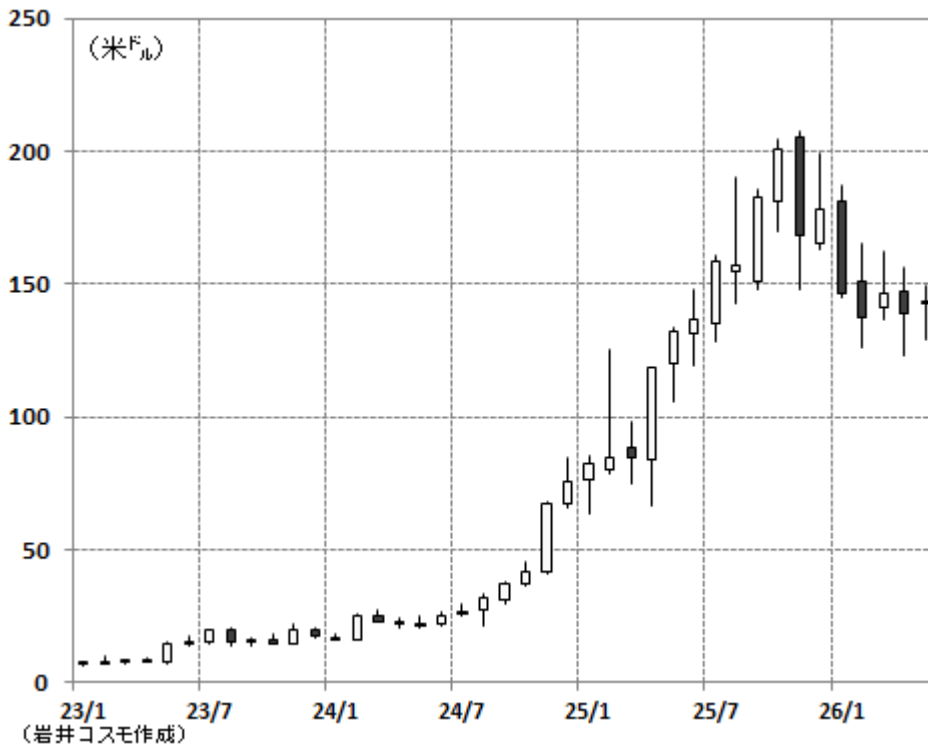
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレクサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析・抽出する技術に定評。最大の強みは優秀な技術者が直接顧客先に常駐して課題解決を伴走支援する「フォワード・テプロイト・エンジニア(FDE)」体制にある。「パランティア」は映画「指輪物語」の水晶玉に由来。同銘柄はS&P500(24年9月)やナスダック100(24年12月)に採用された。

注目ポイント

米民間部門が驚異的な急成長：直近の1-3月期決算では、売上高が前年同期比85%増の16.3億ドルと上場来最高の伸びを記録。米民間売上は133%増の5.9億ドルと急成長を継続。AIプラットフォーム「AIP」導入に向けた「ブートキャンプ」が新規獲得やFDEの活動が奏功、当該四半期だけで206件もの100万ドル超の大型案件が成約した。

米政府部門でのAI導入が加速：米国防総省が同社のAI指揮統制システム「メイブンスmartシステム」を公式採用する等、政府・軍事部門での「AI実効力」の優位性を確立。直近の1-3月期において米政府向け売上高も前年同期比84%増の6.8億ドルへ再加速しており、安定的かつ長期的な資金提供の基盤が一段と強固になっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	143.34 (05/28)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	118.93 (25/06/05)
時価総額	3,436億ドル 54兆7,198億円
株価変化率(%)	-14.9 (過去6ヶ月間) 15.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	160.5 (倍)
株価売上高比率	65.4 (倍)
PBR	40.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)
株式ベータ	1.72 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00

四半期業績

2025/Q1	884	—	176	—	214	—	0.08	0.00
2026/Q1	1,633	85	754	4.3倍	871	4.1倍	0.34	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。